

京都大学デザイン学大学院連携プログラム

- 私達の目指す「デザイン」

- 国際社会は今、温暖化、災害、エネルギー、食糧、人口など**複合的な問題の解決**を求めています。そこで本プログラムでは、**異なる分野の専門家との協働によって「社会のシステムやアーキテクチャ」をデザイン**できる**博士人材**を育成します。
- またそのために、情報学や工学の基礎研究を結集し、複雑化する問題を解決するための、**新たなデザイン方法論を構築**します。これによって、Cyber(情報学など)とPhysical(工学など)の**専門家が、経営学、心理学、芸術系の専門家と協働し問題解決が行えるよう教育**を行います。要するに**専門家の共通言語としてデザイン学を教育し、社会を変革する専門家を育成**します。
- こうした人材を、ジェネラリストを意味する「T字型人材(T-shaped people)」と対比させ、**専門領域を超えて協働できる突出した専門家**という意味を込めて「**十字型人材(+ -shaped people)**」と呼び、本プログラムにより養成すべき人材像とします。
- 出典: <http://www.design.kyoto-u.ac.jp/about>

本題に入る前に、
社会が皆さんに求めているスキルは？

「琉球大学工学部 平成27年度教育 組織改革アンケート調査」

- 詳細: <https://ie.u-ryukyu.ac.jp/~tnal/2015/faculty/questionnaire.html>
- アンケート実施期間: 平成27年8月1日～8月28日
- 回答者
 - 総数104(民間企業50、公務員2、教育関係者8、学生42、その他2)
- アンケート項目
 - 問2: 工学部の社会的任務について(選択式)
 - 問3: 今後必須と思われる教育プログラムについて(選択式)
 - 問4: 改組計画について(自由記述形式)
 - 問5: 技術者に求められる資質について(選択式)
 - 問6: 沖縄の工業関連ニーズについて(自由記述形式)
 - 問7: 琉大工学部への要望について(自由記述形式)

問5: 技術者に求められる資質について(選択式)

- Top 5
 - 第1位: 基礎学力
 - 第2位: 専門知識
 - 第3位: コミュニケーション能力
 - 第4位: 発想・企画力
 - 第5位: 問題解決能力



これ、ひょっとして、...

琉球大学ー京都大学合同デザインスクール2016

期日：2016年11月19日(土)～21日(月)

*21日(月)は夜のみ。

会場：琉球大学地域創生総合研究棟1階

基礎学力、専門
知識、コミュニ
ケーション能力

11月上
旬×切

発想・企画力、
問題解決能力

普天間基地
跡地利用計画
をデザインせよ！

「京大生 x 沖縄県内大学生(大学/学部横断)」という世
代・地域を越えたグループワークを通して問題解決マイ
ンドを身につけたい大学生・大学院生を募集します！

昨年度の様子



フィールドワーク

京大生ファシリテーション



グループワーク



発表会

主催・実行委員会：
京都大学デザイン学大学院連携プログラム
株式会社がちゅん
琉球大学工学部情報工学科
URL：<https://ie.u-ryukyu.ac.jp/design-school2016/>

連絡・問い合わせ先：
琉球大学情報工学科・當間愛晃
所在：琉球大学工学部1号館705室
E-mail: tnal@ie.u-ryukyu.ac.jp
電話：098-895-8830



セールスポイント

- 今回は学生起業の株式会社がちゆんさんのお陰で宜野湾市と連携したプログラムになります。実際に普天間基地周辺の現状と課題を調査し、具体的かつ実行可能なアイデアを設計（=デザイン）することを目指します。デザインの魅力度を高めるための場として、
 - (1) 前提知識を提供する基調講演、
 - (2) 実現場からの情報であるフィールドワークを用意すると共に、
 - (3) これらの課題に共に取り組むチームを「京大生x沖縄県内大学生(分野横断)」として構成します。
 - (4) 加えて、チーム討論を円滑に行うために京都大学の院生がファシリテータを努めます。
 - 京大の参加が確定してるのは今年度まで。来年度以降どうなるかまだ不明。
- 他の人の視点や考え方を見れるだけでなく、それらにこめられた意味や思いをどのように引っ張りだし、議論の材料として調理するか（=ファシリテーション）を目の当たりにする機会でもあります。そして何より今回は沖縄市の施策にも携われるチャンスでもあります。興味のある方は是非参加をご検討ください！！

受講者の声(一例)

- 異なる専門分野の人で集まって一つのものを作るとき、作業の進め方が違っていたり、私が**当たり前**と思っていた事が**通じない**事があつたりして面白いなーと思いました
- 予定調和だろうなと思っていた事でさえ**沖縄と京都の意見が違っていて**、今後県外で働く時のイメージがちょっとつかめて良かった。

- **自由度の高さ**が良いと思います。色々と挑戦しやすかったです。
- 普通の学生生活の中で人と話すことがとても少ないので、今日のデザインスクールはとても刺激になりました。またグループ内での**意見の統一の難しさ**に気付かされました。
- **いろいろな人の価値観**に触れられたと思います!! そう言う考えもあるんだなと気付きました。また、**問題を可視化させる法**をしれた気がします。

補足

- 保険加入手続きの都合上、できるだけ早めの登録を！
- 公式サイト: <https://ie.u-ryukyu.ac.jp/design-school2016/>
- 連絡先
 - 窓口: 琉球大学工学部情報工学科・當間愛晃
 - 情報工学科スタッフ: 遠藤先生、山田先生、名嘉さん(->翁長さん)
 - 所在: 琉球大学工学部1号館705室
 - Tel: 098-895-8830
 - E-mail: tnal@ie.u-ryukyu.ac.jp
 - Twitter: @naltoma
 - Facebook: [naruaki.toma](https://www.facebook.com/naruaki.toma)